

授業科目 生活援助技術 VI

【担当教員名】 白野 絹子	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	◎
【概要・一般目標：GIO】 ・自立に向けた睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を身に付ける。 ・尊厳保持を貫く終末期介護のあり方を個々の感性、人間観、共感を土台に考えを深め、より倫理性高い介護観を構築し、技術に習熟し専門職としての介護能力を身に付ける。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1 睡眠の意義と目的を理解し、安眠のための介護の工夫を実践できる。 2 「生」と「死」の意義について考えることができる。 3 「死」を 生物学的変化について理解できる。 4 倫理的に「死」を考えることができる。 5 「死」を社会背景、社会関係、人間関係の中で捉えることができる。 6 「終末期」の支援に敬意と誠意をもって臨むことができる。				
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号
1	睡眠の意義と目的			
2	睡眠に関する利用者のアセスメント			
3	安眠のための介護・不眠時の対応			
4	利用者の状態・状況に応じた安眠への留意点			
5	「死」とは・人生の意義と役割			
6	"			
7	「死」と社会・社会保障			
8	"			
9	介護施設における「終末期介護」			
10	"			
11	地域・在宅における「終末期介護」			
12	「死」の病態変化の観察と記録			
13	「終末期」の心理とケア・緩和ケアと悲嘆のケア			
14	「終末期介護」のチームケア・死後の対応			
15	まとめ			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	未定			
参考書				
その他の資料				
【評価方法】 筆記試験・レポート・出席状況の総合評価		【履修上の留意点】		